

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日1月15日（日）

今年一年も、「おはようございます」「いただきます」「おかえりなさい」「おやすみなさい」など、家族みんなが声を掛け合い、家族全員の心が通い合う家庭にしていきたいと思います。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

子ども達と向き合って

更埴地区児童センター職員

新年あけましておめでとうございます。新しい年が、未来を担う子ども達にとって、心豊かな一年になることを願っています。

児童館・児童センターは、朝から学校で頑張ってきた子ども達が、放課後異なる年齢の児童と共にそれぞれの館のルールを守りながら、いろいろな活動をするところです。学校でも、家庭でも見せない素の顔が見えるところとも言われています。大勢の子ども達の中には、自分の思いを素直に伝えることができません、問題行動として目立ってしまう児童がいます。甘えて集団での行動がとれなかったり、わがままを言って困らせたりする場面もあります。そんな時、まずはそれぞれの気持ちを受け止めてあげながらも、わがままを助長させることなく毅然とした態度で、やってはいけないことをやっているといる児童に対しては、「いけないことはいけない」と繰り返し教えています。

冬になり、大好きな外での遊びができない時期になりました。トランプ・ウノ・花札を新しく購入し、室内での遊びの充実を図りました。全員参加で恒例のオセロ大会を行い盛り上がりました。まず、一年生にルールを教え、くじ引きで対戦相手が決まり、それぞれ真剣に取り組みました。ひそかに闘志を燃やした家庭でも練習していた児童や、今年こそはと、頑張っている児童の姿もありました。中には、ルールがおぼつかない児童に、教えてあげている優しい場面もありました。また、得意技発表会を行いました。けん玉・竹馬・縄跳び・一輪車・お手玉を、有志の児童が友達の前で発表し、新たに自信を持つことができました。見ている児童にとっては、友達の発表の姿からその子の頑張りを認める場ともなっていました。

これからも、いろいろな経験を通して友達の中で共に成長していくてくれる子ども達を、見守りながら支えていきたいと思います。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 正月に家族がそろおう大切さ —

～育成センターの活動より～

新しい年「酉年」を迎えました。年末の活動の様子や今後の予定について報告いたします。

- 1 八幡「武水別神社大頭祭」に際し、12月12日・13日・14日に補導委員の特別巡回を実施
- 2 育成センター会議1月10日（火）、第6回定例補導委員会1月11日（水）に開催

- ・11月の強調月間における環境チェック活動実施結果の報告
- ・11・12月の補導活動を振り返って
- ・1～3月の補導活動について
- ・PTAとの年度末合同補導について

※補導委員会当日「長野県子どもを性被害から守るための条例について」研修会実施



補導日誌から



【環境チェック活動より】

健全育成への心づかい

11月24日（木） 3:00pm～5:00

埴生地区の8店舗を巡回しました。特に青少年に好ましくない有害な物、18歳未満では法律規範対象になる物の管理販売状況を確認しました。職種の異なる店舗ですが、各店舗とも有害な物の陳列（保管）場所の区別や、購入者の年齢確認等が確実になされていました。また、酒類や喫煙防止に関わる販売や店舗内の管理も、気配りができていたと感じました。「現状何か問題はありますか？」の問いかけには、全店なしの回答でした。各店舗においても問題発生防止に努めているというお話もあり、青少年の健全育成に配慮し、注意して営業していると思いました。

お店の配慮がありがたい

11月28日（月） 3:00pm～5:00

酒類販売店2軒、たばこ店、玩具販売店、ガソリンスタンド、スポーツ用品店、ホームセンター、と上山田地区7店舗を回り環境チェック活動を実施しました。いずれの店も「青少年健全育成協力店」のステッカーを貼ったり、声かけしたりと、配慮している様子が見受けられました。あらためて、今後の協力を依頼しました。環境チェック活動にあわせて、三本木公園～上山田小学校～上山田南公園～中央公園～旧観光ホテルの巡回を行いました。寒さのせい、子ども達の姿はありませんでした。

また次回の巡回で

11月28日（月） 3:00pm～5:00

まだ協力依頼をしていない屋代小学校区の店舗を巡回することにしました。どの店舗も快く対応していただきました。A店は7月の環境チェック活動の折店長不在のためパンフレットを置いてお願いしてあったので、今日は店長さんにすぐに協力をいただきました。自動車関連のB店は社長不在のため、パンフレットを渡しお願いしてきました。また、次回の7月環境チェックに回りたいと思います。

ステッカーを、見える場所に

11月29日（火） 3:00pm～5:00

八幡地区の環境チェック活動を行いました。8店舗へ「青少年健全育成のお願い」の通知をお渡しし、

趣旨を説明し協力をお願いしてきました。「ひまわりっ子育て県民運動」のステッカーが、店頭ではなく店内に貼ってある店舗が数件ありました。ステッカーがまだ貼られていない2店舗には、運動への協力をお願いしてステッカーを渡してきました。

【 定例補導巡回より 】

自律している子ども達

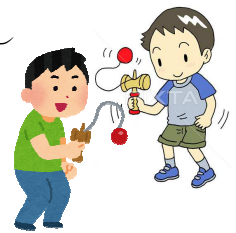
12月 5日(月) 3:00pm~5:00

科野の里ふれあい公園では数名の子どもがおり、暗くなるのが早いので帰宅時間を守るよう声をかけました。五十里公園では10数名の小学生が元気よく遊んでいました。帰宅時間を守るよう声をかけたところ、素直な返事が返ってきました。今日の巡回は、ちょうど小学生の下校時間と重なっていました。子ども達は集団で下校していました。みんなが交通ルールを守っており、元気良く帰宅していました。

明るい子ども達

12月 6日(火) 3:00pm~5:00

佐良志奈神社・黒彦中央公園・古代体験パークは、冷たい強風のせいか人がいませんでした。更級児童館へ行くと20名程の児童がいて、絵を描いたりけん玉やなわとびに挑戦したりと、それぞれが好きな遊びを楽しんでいました。小船山公園では、4人の子どもがボール蹴りやブランコで遊んでいました。声をかけると元気な声が返ってきました。



公園では気が緩むのでしょうか

12月 7日(水) 3:00pm~5:00

小学校の下校時間でした。途中で自転車に乗った少年2人とすれ違いました。「気を付けて行きなよ。」と声をかけ、巡回を始めました。五加児童館に行くと、廊下に上履きが整然と並べられていました。1年生と2年生以上の子ども達が、2つの部屋に分かれていました。大勢が机に向かっており、元気に勉強をしていました。内川公園には女子児童が2人、ベンチに座ってスマホのゲームを教え合っていました。自動販売機の横にある空き缶入れの中にはゴミ屑が入っており、脇には飲み残しのカップ酒が置いてありました。ゴミ屑は拾い出し、カップ酒は中身を捨て、ゴミ箱に入れました。



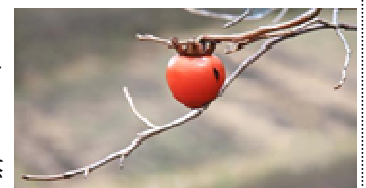
編集室の窓

きも 木守り柿・木守りりんご

柿の実が熟す晩秋には、我が家には沢山鳥がやってきます。今年は不作でしたが、オナガ、ヒヨドリ、スズメ、モズ、最近巷を騒がせているムクドリも集団でやってきてにぎやかでした。限りある柿の実に群がる風景は、自然界の厳しさの現れです。一気に全てなくなるかと思うと、不思議と少し残します。誰かのためなのでしょう。そんな想像をすると、自然界の絆を感じます。そのまま静かに師走は過ぎて行きました。

昔の人は柿の実を採り尽すことはしませんでした。その実は生きているもの全ての大粒な食料であり、天からの授かりものと考え1つ2つと残しました。今年の木への感謝の気持ち、鳥たちや小さな生きものへの心使い、そして次の年の豊かな実りを残した柿の実に託したそうです。「木守り柿」の風習です。

身の周りを見てください、柿の木には食べてもらえない柿が山ほどなっています。食べる人がとて少なくなったので、柿の木に『ぽつんと残る木守り柿』は死語に近くなりました。それでも、その心はりんごに引継がれています。冬場、りんごの木に残る1つ2つのりんご。日本人の心の豊かさは確実に受け継がれています。身近な所にもあります、『木守りりんご』として。（“こもりがき”ともいわれます）



子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切であります。今の子ども達には夢がない、と言われていています。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

ぼくのゆめは、にんじゃになることです。まえにちびっ子にんじゃむらへいきました。かっこいいとおもいました。にんじゃのふくをきてうれしかったです。ぼうをわたったり、からくりやしきでドアをおしたりしてすすみました。

にんじゃになるために、おとうさんにてつだってもらってしゅぎょうをしています。これからもしゅぎょうをします。がんばります。 【1年1組 高橋 祥智】

わたしのしょうらいのゆめは、びょうしになることです。なぜかという、ママがびょうしなので、それを見たら、自分もびょうしになってみたいと思いました。毎日、たくさんおきゃくさんが来るようなお店にしたいと思っています。きたおきゃくさんをかっこよくしたり、かわいくしたりして、おきゃくさんがしあわせなきもちになるお店にしたいです。これがわたしのゆめです。 【2年1組 田玉 夕姫乃】

わたしは、しょうらい科学しゃになりたいです。なぜかは、びょうきをなおすくすりをつくったり、べんりなロボットをつくったりしたいからです。そして、いろいろな人をたすけたいし、ハッピーにもしたいです。いろいろな人をたすけたりハッピーにしたりすると、きもちがいいです。いろいろな人をたすけ、せんそうのない平和なせかいをつくりたいです。 【2年2組 野口 知華】

ぼくは、海の生き物が大好きで、何回も水族館に行ったり、図かんなどの本を読んだりしました。そして、海の生き物には、まだ分からないことがたくさんあることを知りました。ぼくは、しょう来、海洋生物学者になって、海の生物のなぞを解明したいです。

ぼくが海洋生物学者になったら、やりたいことがあります。それは、ウナギの完全養殖の方法を見つけることです。今、お店で売られている「養殖ウナギ」は、シラスウナギ（ウナギの子ども）を海でつかまえて育てたものです。でも、最近シラスウナギがとれなくて、ウナギのねだんが高くなってしまいました。人工的に卵を産ませて、シラスウナギを育てることはとてもむずかしくて、今でも良い育て方がわかっていません。ぼくは方法を見つけて、安くておいしい国産のウナギをたくさん食べたいです。

ゆめをかなえるために、もっと本を読んで知識をふやしたいです。そして学校の勉強もがんばりたいです。 【3年1組 塚田 祥太】

わたしのゆめは花屋さんです。なぜかという、花屋さんに行くと、え顔であいさつしてくれるからです。わたしはえ顔が少ないので、ふんわりとしたえ顔をしたいです。花さんは花のことをすごくいっぱい知っているの、わたしももっと花のことを知りたいです。わたしの家の花だんに「ペチュニア」という花があります。ピンク、白などの色でとてもきれいです。やっぱり花はいいなと思います。

【3年2組 宮川 倅】